

60歳以上の笑顔 競う

アクティブシニア向けに出版や通販事業を手掛けるほか、月一回のペースでリサーチを行い、公表しているソーシャルサービス（東京都千代田区）は、昨年より新たに高齢者の笑顔の写真コンテストを始めた。シニア向け事業を通じて見えてきたニーズやこれからの展望について、白形知津江社長に話を聞いた。



ソーシャルサービス
白形知津江社長

シニア400万人に
生活情報を発信

「アクティブシニア向けにどのようなサービスを提供しているのか。」

白形 当社は（社）ポータルくらぶのグループ会社として、全国に400万人いるシニアを中心とした「ポータルくらぶ」

コンテスト開催

「会員へのリサーチにも力を入れた。」

「ある日突然介護が必要になったが、どうしたらいいかわからない」と望んでいることは明らか。そういった人たちを「笑顔の写真」で繋げたいと、昨年より60歳以上を対象の「OVER 60 国スマイルコンテスト」を実施している。昨年は1400名を超える応募があった。今年も5月31日まで全国から笑顔の写真を集め、9月に入賞者を招待して表彰式を行う。シニアにとって笑うことは大切。笑顔で素敵に生活する人の姿を見て、今そでない人も変わってほしいと願っている。

会員向け、雑誌「どきどき」や通販「デュエット」、健康食品などの広告事業を展開している。会員は年会費350円で、年に一回雑誌や通販力タログなどを

高齢者の社会参加促す

受取れる。当社はこれらの会員向けサービスのために2012年に設立した。

内最大規模のシニア向け半数以上と多く、その中会員組織と言える。またの多くは「介護に関する情報がない」との悩みを抱えていたこと。介護サ

「今までの事業から、今後どのように事業展開していくのか。」

白形 健康食品などをまとめた連合広告や通販の反響が思ったよりも大きかったことや、リサーチで直接シニアから話を聞いたりしたことから、多

笑顔写真募集 5月末まで

白形 月一回程度、シニアが特徴。リサーチから得た結果はシニア層の旅行、化粧品やインターネット利用まで、生活全般にまつわる調査を行って印象的だったことは。白形 昨年12月に公表した「介護者の悩み」について60%以上が50代以上、70代以上が3割おり、国介護した経験がある人がた。ある日突然介護が必要になったが、どうしたらいいかわからない」と望んでいることは明らか。そういった人たちを「笑顔の写真」で繋げたいと、昨年より60歳以上を対象の「OVER 60 国スマイルコンテスト」を実施している。昨年は1400名を超える応募があった。今年も5月31日まで全国から笑顔の写真を集め、9月に入賞者を招待して表彰式を行う。シニアにとって笑うことは大切。笑顔で素敵に生活する人の姿を見て、今そでない人も変わってほしいと願っている。